

令和5年度
事業報告書

公益財団法人光市文化振興財団

管 理 の 概 要

1 公益財団法人 光市文化振興財団

(1) 理事会

ア 第1回定時理事会

日時 令和5年5月10日(水) 13時30分～15時00分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 令和4年度事業報告及び計算書類の承認、監査報告
令和5年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項

イ 第1回臨時理事会

日時 令和5年5月25日(木) 15時15分～15時35分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 理事長の選任について
常務理事の選定について
事務局長の解任及び選任について

ウ 第2回臨時理事会

日時 令和5年9月29日(金) 10時00分～11時00分
場所 光市民ホール 中会議室
議事 令和5年度事業計画の変更(案)について
令和5年度収支補正予算(第1回)(案)について
人事異動について
定款第26条第4項に定める理事長及び常務理事の職務執行報告

エ 第2回定時理事会

日時 令和6年3月19日(火) 13時30分～14時30分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 嘱託職員等の給与支給要綱の一部改正について
令和6年度事業計画(案)及び令和6年度収支予算(案)について
令和6年度の当法人の業務執行について
定款第26条第4項に定める理事長及び常務理事の職務執行報告

(2) 評議員会

ア 定時評議員会

日時 令和5年5月25日(木) 13時30分～15時
議事 令和4年度事業報告
令和4年度計算書類及び財産目録の承認
評議員及び役員を選任について

(3) 評議員、役員

令和5年5月26日現在

役職名	氏名	役職・所属等
評議員	原田和恵	光文化協会会長
〃	西本聡士	光商工会議所副会頭
〃	岡崎英子	学識経験者
〃	吉本英夫	光市副市長
〃	伊藤幸子	光市教育委員会教育長
〃	村中民義	光市コミュニティ連絡協議会(島田コミュニティ協議会)
〃	田中道治	光市青少年健全育成市民会議運営委員長
〃	岡田淳子	光市小中学校校長会(附属光小中校長)
〃	見村美津子	島田地区婦人会会長
〃	重歳昇明	一般社団法人光青年会議所元理事長
〃	一倉輝男	日鐵ステンレス(株)光製造所総務室長
〃	齋藤まゆみ	光市文化財審議会委員
〃	兼清健吾	ミュージックキャラバン代表
〃	藤本満俊	陶芸家
〃	礪部昭彦	光地方史研究会副会長
〃	友光幹司	光市老人クラブ連合会事務局長
〃	久原慶昭	アラ還フェスティバル実行委員長
〃	松本奈津美	ダンス教室主宰
理事長	近藤俊一郎	
理事	坪井玲子	書家
〃	兼清昌子	光人形劇協議会会長
〃	吉村博子	工芸作家
〃	山岡幸治	光市総務部長
〃	升克頼	光市教育委員会教育部長
〃	内田浩子	光ふるさと郷土館館長(令和5年9月30日迄)
〃	松崎信義	光市民ホール館長
常務理事	佐伯肇一郎	光市文化センター館長
監事	山本武男	税理士
〃	末延勇雄	

※当期中の評議員及び役員の変更

評議員：南 秀男 → 原田和恵 有澤 久 → 西本聡士 山根伸幸 → 村中民義
 江藤弘康 → 岡田淳子 田中孝雄 → 友光幹司
 理事：津村秀雄 → 近藤俊一郎 武居雅則(辞任)

2 施設の概要

(1) 光市文化センター

所在地 〒743-0011 山口県光市光井九丁目18番2号

電話 0833-72-5800 FAX 0833-72-5715

敷地面積 9,500㎡

建築面積 856.78㎡

延床面積 1,888.42㎡

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階

駐車場 乗用車106台

主な床面積

企画展示室	204㎡	研修会議室	90㎡
歴史民俗展示室	329㎡	ロビー	155㎡
美術展示室	204㎡	収蔵庫	163㎡

(2) 光市民ホール

所在地 〒743-0063 山口県光市島田四丁目13番15号

電話 0833-72-1441 FAX 0833-71-3555

敷地面積 14,944,070㎡

建築面積 4,151,874㎡

延床面積 5,256,925㎡

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨トラス造 地下1階地上2階

駐車場 乗用車200台 バス10台

施設のあらまし

大ホール	客席＝固定席886席／車イス席5席 舞台＝間口18m／奥行14m／高さ8m 楽屋＝①19㎡ ②21㎡ ③35㎡ (2階)
小ホール	客席＝固定席326席／車イス席4席 舞台＝間口11m／奥行6m／高さ4.5m 楽屋＝④18㎡ ⑤14㎡ (2階)
ロビー	225.3㎡ (16m×14m)
会議室	中会議室 135.0㎡ (9m×15m) 小会議室① 41.4㎡ (9m×4.6m) 小会議室② 36.0㎡ (9m×4m)
和室	28畳

(3) 光ふるさと郷土館

所在地 〒743-0007 山口県光市室積五丁目6番5号

電話 0833-78-2323 (FAX兼用)

敷地面積 2,744.5m²

建築面積 763.98m²

延床面積 943.67m²

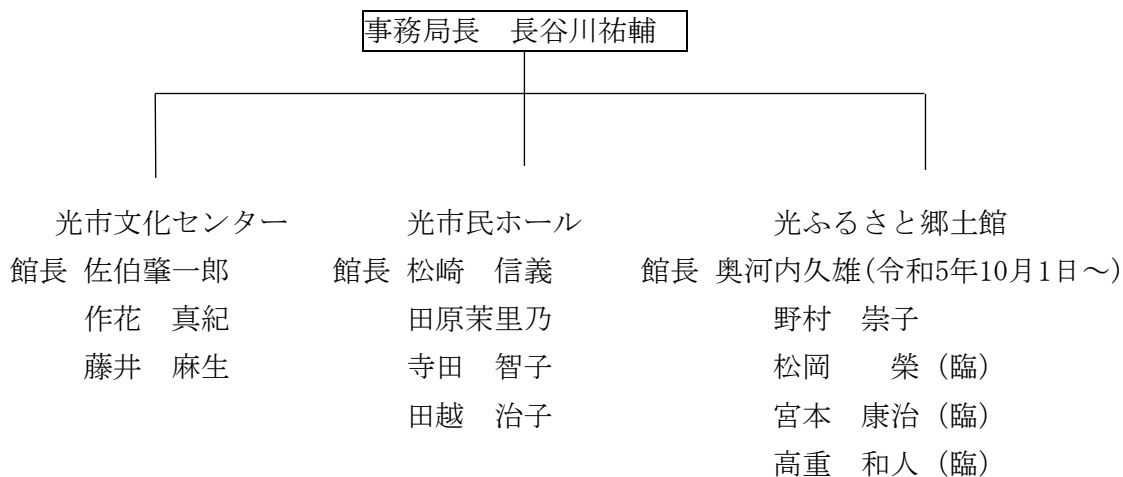
構造 木造平屋一部2階

駐車場 乗用車25台 バス3台

主な床面積

玄関ロビー	40.00m ²
休憩室	22.00m ²
案内所	14.00m ²
帳場	16.50m ²
第2展示室(奥座敷)	36.00m ²
ギャラリー	47.40m ²
醤油製造場	33.30m ²
漁業展示室	16.50m ²
工房	31.50m ²
第6展示室	123.20m ²
その他	383.35m ²

3 事務局の組織及び職員



4 入館者、利用状況

(1) 文化センター

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数	257	242	233	279	278
入館者数	19,544	10,246	11,759	20,017	20,141
平均入館者数	76.0	42.3	50.5	71.7	72.4

(2) 市民ホール

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大ホール	件数	56	27	36	54	55
	日数	98	33	57	98	89
	入館者数	36,581	3,392	10,408	19,542	23,908
小ホール	件数	95	28	95	100	115
	日数	100	32	107	133	158
	入館者数	12,968	1,060	4,983	6,182	9,438
ロビー	件数	6	4	5	3	10
	日数	64	5	15	36	48
	入館者数	790	650	565	540	500
会議室	件数	215	189	155	131	172
	日数	389	199	194	226	243
	入館者数	3,485	3,457	2,919	2,826	3,914
和室	件数	5	4	2	6	※ 0
	日数	34	4	6	27	16
	入館者数	44	47	20	28	※ 0
合計 (延べ)	件数	377	252	293	294	352
	日数	735	273	379	520	554
	入館者数	53,868	8,606	18,895	29,118	37,760
開館日数		306	266	273	306	307
平均入館者数		176.0	32.4	69.2	95.2	123.0

※複数の施設を使用する事業の場合、重複を防ぐため件数と入館者数は主要な施設の数値に計上している。

(3) ふるさと郷土館

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数	276	251	242	296	296
入館者数	6,293	3,605	3,300	4,802	5,299
平均入館者数	22.8	14.4	13.6	16.2	17.9

5 広報紙『虹』の発行

各施設の行事案内やお知らせを中心に、文化情報、資料紹介などを掲載する情報誌『虹』を発行して、情報を発信した。

- (1) 体裁等 A4判 4ページ カラー刷り
- (2) 発行部数 1,700部 (財団友の会会員全員へ送付)
- (3) 発行日 偶数月の1日

事業の概要

1 文化センター

(1) 常設展示

ア 歴史民俗展示室

(ア) 歴史部門

光市の古代から昭和20年代まで

懸山古墳箱式石棺、各遺跡出土品、清水宗治関係資料、八海観音堂大般若経、冠天満宮棟札・金銅十一面観世音菩薩坐像懸仏、光海軍工廠資料、明治からの教科書、玉井喜作、回天一型頭部など

(イ) 民俗部門

農耕用具、水車、平駄船模型、商業交易用具、日常生活用具、薬種用具

イ 美術展示室

第90回常設展 文化センター所蔵「レンタルアート展」

5月13日(土)～7月2日(日)

第91回常設展 文化センター所蔵「海が見える風景展」

7月15日(土)～9月24日(日)

第92回常設展 文化センター所蔵「人物の表現展」

8月12日(土)～9月3日(日)

第93回常設展 文化センター所蔵「冬から春への美術展」

2月24日(土)～4月28日(日)

ウ 自然史展示室

小動物、鳥類、昆虫類の標本 貝類標本 虹ヶ浜の昆虫相 化石標本

エ 1階ロビー

- ・重要無形文化財保持者「山本晃」氏作品5点を入れ替え展示
- ・冠天満宮金銅十一面観世音菩薩座像掛軸を展示(歴史文化探検クイズラリー関連)
- ・令和5年度光市美術展大賞作品展示(彫塑)

オ 屋外展示

消防用手押ポンプ、丸型郵便ポスト、旧伊藤博文邸レプリカ

(2) 企画展示

ア 第42回濤美会展

会期 4月7日(金)～4月16日(日)

会場 企画展示室及びロビー

入館者 565人

内容 当館で毎週木曜日に実施している絵画教室の会員の作品を展示し、一年間の学習の成果を発表している。会員21人の油彩画、水彩画、デッサン等74点と講師の作品1点を展示した。

イ 光市作家展

会 期 6月10日(土)～6月25日(日)

会 場 企画展示室及びロビー

入館者 954人

内 容 光市在住、もしくは光市に関わりの深い作家で、文化センターにおいていまだ本格的な発表をされていない方々の作品を紹介している。市美術展や県の展覧会の舞台で活躍し、作品や人柄を通して周囲に影響を与えている人たちを紹介することで、多くの市民や美術愛好家にその作家の活動について知ってもらい、造形活動の普及発展につなげることを目的としている。

第17回目となる今年度は、文化センター絵画教室に所属している洋画の「進ミツ子」氏と木彫・陶芸家の「吉田浩」氏を紹介した。

ウ 第19回 光市美術展(公募展)

会 期 前期：10月24日(火)～10月29日(日)

後期：10月31日(火)～11月 5日(日)

会 場 全館

入館者 1,829人

内 容 市民等から広く作品を募集し展示することにより、光市の美術の振興を図るとともに、美術の鑑賞を通して市民文化の向上に寄与することを目的に開催した。

また、大賞受賞作家の作品についてはロビーに常設で展示することにより顕彰する。

主 催 光市・光市教育委員会・光文化協会・公益財団法人光市文化振興財団

出品部門 前期：日本画、洋画、彫刻、書、写真

後期：陶芸、金属工芸、染色、和紙ちぎり絵、切り絵、
フラワーアレンジメント、生花、その他

応募総数 320点 入賞点数 34点



エ 巖島虹石没後120年展

会 期 12月2日(土)～2月4日(日)

会 場 2階展示室及びロビー

入館者 543人

内 容 今年度は、光市三大作家の一人である日本画家の巖島虹石の没後120年にあたることから、文化センターが長年収集した作品と所蔵家の出品協力を得て展覧会を開催した。この画家展をとおして、郷土出身の画家を市民に広く紹介するとともに、絵画に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の高揚と底辺の拡大を図った。

オ わが家所蔵の美術品展

会 期 2月17日(土)～3月10日(日)

会 場 企画展示室及びロビー

入館者 405人

内 容 絵画、版画、彫刻、工芸、レリーフ、掛軸等、家庭にある愛蔵品や秘蔵品を持ち寄って開催した。市民からの作品75点を展示した。

カ 第16回 文化センター水彩画教室展

会 期 3月28日(木)～3月31日(日)

会 場 企画展示室

入館者 357人

内 容 当館で実施している水彩画教室の会員の作品展。会員25人の作品62点と講師の作品3点を展示し、これからの学習の励みとした。

(3) 教育普及活動

ア 成人大学講座

光市の生涯学習推進の一翼を担っている事業であり、歴史、文学などを中心に年間7講座を開設した。

受講者は延べ262人。

年間受講料1,500円。



No	内 容	講 師	開 催 日	参加者
1	毛利家よもやま話	旧徳山藩毛利家 14代当主 毛利 就慶	5月20日(土)	41人
2	大内氏を支えた人々 ～大内氏家臣の仕事と暮らし～	山口市歴史民俗資料館 学 芸 員 田村杏士郎	6月17日(土)	41人
3	江戸・明治期の書物に見る地域の文化 ～光市文化センター所蔵の古典籍をめぐって～	島根大学 教 授 田中 則雄	7月15日(土)	36人
4	種田山頭火と山口	山頭火ふるさと館 学 芸 員 高張 優子	8月19日(土)	32人
5	清水宗治・景治とその時代	光地方史研究会 会 員 重国 俊夫	9月16日(土)	34人
6	山口県の怪異伝承を読み解く ～人文学の視座から～	梅光学院大学 教 授 倉本 昭	11月18日(土)	36人
7	下関戦争～講和交渉の真実～	下関市立歴史博物館 元学芸員 田中 洋一	12月16日(土)	42人

イ 絵画教室

昭和56年度から開始した講座で、デッサン、油彩画、水彩画の実技指導を行う。
カリキュラムは静物、風景、人物などを中心に身近なものを素材として様々な作品制作に取り組んだ。

実施日	原則として毎週木曜日 今年度 通算 39回実施
会員数	21人(年度末現在)
指導者	河村 純一郎(洋画家 行動美術協会会員)
年会費	12,000円

ウ 水彩画教室

手軽に始めることのできる水彩画を取り上げ、経験にかかわらず絵を描く楽しさを体験し、技能向上を目指す教室で、3月には会員の作品展を開催した。

実施日	原則として第1・3日曜日 今年度 通算 23回実施
会員数	25人(年度末現在)
指導者	岡村 毅(創美会会員)
年会費	6,000円

エ 彫塑教室

立体造形に関する基礎的な知識と創造的技能の修得を目的に実施し、市美展などに発表し普及を図った。工芸など立体分野と連動させ発展させるため、人物像の制作などに取り組んだ。

実施日	原則として第2・4土曜日 今年度 通算 21回実施
会員数	8人(年度末現在)
代表	下川 正孝(市美展招待作家)
年会費	6,000円

オ 湯呑みづくりの会

講師はボランティアとして指導し、会員が自主的にサークルを形成することによって創作活動を進める会で、湯呑みや茶碗を制作した。

実施日	原則として第1・3水曜日 今年度 通算 23回実施
会員数	10人(年度末現在)
指導者	村山 嘉憲(陶芸作家)

カ 夏休み子ども科学教室

夏休みに科学実験や物づくりを通して、科学への興味・関心を高め、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの機会とすることを目的に実施した。

空気の力を実験したり、ペットボトルの中で雲を作ったりするなど子どもたちは積極的に取り組んだ。

開催日 7月22日(土)：3・4年生

7月29日(土)：5・6年生

会場 企画展示室

参加者 小学生26人



キ 夏休み子ども陶芸教室

夏休み期間に陶芸を体験することにより、もの作りの楽しさや喜びを味わってもらうことを目的に実施した。

生活雑器をはじめ人形、置物など子どもたちは自由に作品作りを楽しんだ。

開催日 【成型】7月23日(日)

【絵付け】8月5日(土)

会場 企画展示室

参加者 小学生17人

協力者 湯呑みづくりの会



ク ひかり歴史文化探検クイズラリー寺社編Ⅰ

光市の貴重な史跡、有形文化財や文化施設等を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例として実施した。

具体的内容は、参加者にガイドマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文化財、史跡、資料館等の内、指定された32箇所を巡ってもらった。

指定32箇所の内、16箇所以上を廻り、クイズに10問以上正解した方には、修了証と記念品を進呈した。

期間 7月7日(金)から11月12日(日)

参加者 431人(修了者223人)

ケ 絵画貸出事業

この事業は絵画を市民等に貸与し、家庭や公共の場所へ掲げ鑑賞することによって、ゆとりと潤いのある生活を営んでもらうとともに、自らも絵画を描くなど美術への関心が高まることを目的に、平成10年度から実施している。令和5年度もレンタルアート展を開催するなど利用促進に取り組んだ。

【利用状況】延べ利用人数23人 延べ貸出点数46点

(4) 施設貸館展覧会

No	名 称	主 催	会 期	日数	入館者数	会場
1	第9回フレンド山口写真展	フレンド山口	4月20日～ 4月23日	4	548	企画展示室
2	創美展	創美会	5月10日～ 5月14日	5	456	企画展示室
3	全日本写真連盟光支部写真展	全日本写真連盟光支部	5月18日～ 5月21日	4	381	企画展示室
4	光地方史研究会総会	光地方史研究会	5月21日	1	28	研修会議室
5	光市書道連盟展	光市書道連盟	5月26日～ 5月28日	3	474	企画展示室
6	光地方史研究会・小例会	光地方史研究会	8月 6日	1	33	研修会議室
7	池坊光支部青年部花展	池坊光支部	9月10日	1	125	企画展示室
8	光市小学校科学作品展	光市教育委員会	9月30日	1	712	1階 全館
9	幼児画展	光市立図書館	11月10日～11月12日	3	803	企画展示室
10	創美展	創美会	11月15日～11月19日	5	428	企画展示室
11	ウィメンズ光書会学生展	ウィメンズ光書会	11月25日～11月26日	2	890	2階 展示室
12	光市小中学校美術展	光市教育委員会	11月25日～11月26日	2	1,965	1階 全館
13	光市文化財審議会	光市教育委員会	11月29日	1	22	企画展示室
14	パッチワーク作品展	藪内昌子	12月 1日～12月 3日	3	475	1階 全館
15	池坊光支部花展	池坊光支部	12月 9日～12月10日	2	318	企画展示室
16	二科会写真部山口支部公募展	二科会写真部	12月14日～12月17日	4	611	企画展示室
17	墨水会書初作品展	墨水会	1月13日～ 1月14日	2	942	企画展示室
18	日本教育書道会書初展	日本教育書道会	1月26日～ 1月28日	3	582	1階 全館
19	古文書歴史講座	光地方史研究会	3月 2日	1	19	研修会議室
20	平和写真展山口	宮原博美	3月15日～ 3月17日	3	350	企画展示室

光市小学校科学作品展



日本書道連盟展



(5) 学校教育への対応

ア 高等学校歴史学習

聖光高等学校 2年生 5月12日（金） 生徒42名

イ 中学校総合的な学習

光市立島田中学校 1年生 5月25日（木） 生徒93名

- ウ 高等学校美術学習
光高等学校 3 年生 6 月 2 1 日 (水) 生徒 1 0 名
- エ 中学校総合的な学習 (職場体験学習)
光市立光井中学校 2 年生 9 月 2 2 日 (金) 生徒 1 名
- オ 高等学校美術学習
光高等学校 3 年生 1 0 月 2 4 日 (火) 生徒 2 1 名
- カ 高等学校美術学習
光高等学校 1 年生 1 0 月 2 5 日 (水) 生徒 6 名
- キ 高等学校美術学習
光高等学校 2 年生 1 0 月 2 6 日 (木) 生徒 1 1 名
- ク 高等学校歴史学習
聖光高等学校 3 年生 1 1 月 2 1 日 (火) 生徒 7 7 名

(6) 資料収集活動

ア 主な収集資料

美術資料	江成一郎	油彩画	1 点	寄贈
〃	鏑木清方	日本画 (掛軸)	1 点	寄贈
〃	岸 駒	水墨画 (掛軸)	1 点	寄贈
〃	杉孫七郎	書 (掛軸)	1 点	寄贈

イ 令和 5 年度末現在の館蔵資料点数

		購 入	寄 贈	寄 託	その他	合 計		
美 術	絵画 版画	173	322	1	23	519	1, 193	15, 004
	彫刻 工芸	12	163		95	270		
	書	4	53		40	97		
	写 真		3		68	71		
	資 料	6	213		17	236		
人 文	考 古		18	7	280	305	13, 495	
	歴 史	7	4, 288	571	423	5, 289		
	民 俗	3	7, 645	229	24	7, 901		
科 学	自然史系	1	230	1	84	316	316	
	科学技術系					0		

注：未整理・未登録の収蔵資料は含まない。

ウ 資料の整理

清水家及び難波家文書の古文書解読文確認作業などの調査研究事業を郷土史家の協力を得て引き続き実施した。

2 光市民ホール

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月から5類感染症としての取り扱いがされるようになり、これまでの厳しい行動制限が緩和されたことから、市民ホール利用者も徐々にコロナ前の状況に回復の傾向が見られるようになってきた。

市民ホールは、誰でも利用できる多目的施設であり、不特定多数が集う施設であることから、感染防止対策は当然のことながら、特に施設の安全対策、安全管理に十分配慮し、危険防止と事故防止に最大限の注意を払い運営を行った。

(1) 自主文化事業

第51回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するため、各界で活躍している話題性の高い著名人を講師に招き、講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座として開催した。

① 第1講座

開催日 7月7日(金) 18時30分～
講師 木山裕策(歌手)
演題 今、歌を通して伝えたいこと
～世界に一つだけ my sweet home～
受講者数 306人

② 第2講座

開催日 7月27日(木) 18時30分～
講師 桂 宮治(落語家)
演題 落語とコミュニケーション術
～明るい所に花は咲く～
受講者数 359人

③ 第3講座

開催日 8月3日(木) 18時30分～
講師 坪内知佳(萩大島船団丸・株式会社 GHIBLI 代表)
演題 漁師集団「萩大島船団丸」の再建
～新しい6次産業の創造に向けて～
受講者数 375人

(2) その他自主文化事業

①第7回ストリートダンスフェスティバル in 光

開催日 4月2日(日) 13時30分～
出演者 25チーム
入場者 723人

会 場 大ホール
内 容 中学校保健体育授業でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加したため、その普及啓発とともに、青少年の音楽や表現活動の推進、舞台芸術活動の振興を図る目的で開催した。

②スタインウェイピアノ開放事業

「第15回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ！」

開催日 5月13日(土)・14日(日) 9時～18時

会 場 大ホール

出演者 36組

入場者 65人

内 容 初心者から上級者までの幅広い層を対象に、ピアノに関心のある人が世界を代表するピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の体験の場を提供した。

③精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

開催日 5月28日(日) 14時～

会 場 大ホール

入場者 608人

内 容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高等学校吹奏楽部(福岡市)を招聘してハイレベルの吹奏楽コンサートを開催した。今回は、光高校吹奏楽部との合同演奏も実施した。



④小学校音楽・演劇教室(学校引率)

妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」

開催日 6月8日(木) 14時～

会 場 大ホール

入場者 826人

内 容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供した。本年度は演劇教室として、妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」を鑑賞した。

⑤光の文化を高める会会員招待公演

「横田神楽団特別公演」

開催日 6月18日(日) 14時～

会 場 大ホール

入場者 363人

内 容 会員招待公演は、新規会員の確保や現行会員の継続入会（更新）を促進するため、大衆性のある出演者を招聘し毎年開催している。

今回は神楽の聖地、広島県安芸高田市の神楽団の中でも特に技巧に優れた横田神楽団を招き神楽公演を開催した。



⑥古典芸能公演

神田京子独演会

開催日 9月3日（日） 14時～

会 場 小ホール

入場者 191人

内 容 山口県を活動拠点とする人気女性講談師「神田京子」と人気落語家「三遊亭遊雀」を招いて、落語と講談「金子みすゞの世界～みんなちがって、みんないい。～」を市内の落語愛好グループがんざき亭との共催で開催した。

⑦第36回市民コンサート

開催日 9月10日（日） 13時～

会 場 大ホール

出演者 10組

入場者 600人

内 容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会して、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供した。

⑧宝くじ文化公演

岸谷香 KAORI PARADISE 2023

開催日 11月11日（土） 16時30分～

会 場 大ホール

入場者 846人

内 容 （一財）自治総合センターが実施する「宝くじ文化公演事業」を活用し、元プリンセスプリンセスのボーカル、岸谷香のコンサートを開催した。

⑨映画で考える子どもの幸せ

開催日 11月26日（日） 14時～

会 場 小ホール

入場者 120人

内 容 児童相談所に勤務する若い児童福祉士を主人公としたドキュメンタリー調の作品「ほどけそうな、息」と、下松市在住の高校生の原案をもとに制作された「10ミニッツ」の2本の映画の鑑賞と、児

童養護施設の施設長を交えてのトークシンポジウム「子供の幸せとは？」を開催した。

⑩ゲッターズ飯田開運トークライブ2023

開催日 12月16日(土) 1回目 12時～、2回目 15時30分～
会場 大ホール
入場者 1,717人(1回目865人、2回目852人)
内容 芸能界最強の占い師として人気の高い「ゲッターズ飯田」を招き、開運トークライブ(1日2回公演)を(有)オフセンターとの共催で開催した。



⑪優秀映画鑑賞会

第7回光市民ホール名画劇場

開催日 2月3日(土)・4日(日) 10時～
会場 小ホール
入場者 158人

内容 優れた映画の鑑賞機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、広く市民を対象にした廉価な入場料による映画鑑賞会を開催した。

本年度は、1990年以降に登場した自主映画出身の監督たちが軽快に描く「Shall we ダンス?」、「がんばっていきまっしょい」、「キツツキと雨」、「死に花」の4作品を上映した。

⑫バンカラ

～バンドでカラオケのど自慢～

開催日 2月25日(日) 13時～
会場 大ホール
出者者 24組
入場者 200人

内容 のど自慢スタイルで、生バンドをバックにステージで歌うイベントで、県内各地から歌うま自慢の出演者の応募があった。今回で3回目であるが、疑似ワンマンショーが体験できることから、多くの参加希望がある。音楽バンド「ナミーズ」との共催で実施した。

⑬第9回アラ還フェスティバル in 光

開催日 3月3日(日) 13時～
会場 大ホール
入場者 547人

内容 市内及び近隣地域において、概ね還暦(60歳)前後で構成する音楽愛好家グループによる演奏会を開催した。市民レベルの文化活動の振興、音楽活動の推進、市民文化の向上を図ることを目的に毎年開催しており、今回は10バンドが出演した。

(3) 施設貸館事業 (主な貸館内容)

① 諸団体による芸術文化活動

・児童合唱団ひかり発表会	4月 8日 (土)
・光風流吟道大会	4月16日 (日)
・全国吟詠コンクール山口県大会	5月21日 (日)
・邦楽虹の会発表会	6月 4日 (日)
・島田人形浄瑠璃芝居保存会奉納上演	7月30日 (日)
・防友会吹奏楽の夕べ	8月 5日 (土)
・光市老人クラブ連合会文化祭	10月20日 (金)
・なぎさ復活コンサート	3月10日 (日)
・山口県吟剣詩舞道大会	3月17日 (日)
・「ONE」ひとりからひとつに	3月23日 (土)
・J.FELLOW ダンス発表会	3月31日 (日)

② 学校等の文化活動

・附中祭	9月 7日 (木)
・附属光小コンサート	10月21日 (土)
・浅江中学校合唱コンクール	10月27日 (金)
・島田中学校合唱コンクール	11月 1日 (水)
・虹ヶ丘幼児学園キッズフェスタ	12月23日 (土)
・光高校卒業研究発表会	1月19日 (金)
・光高校吹奏楽部定期演奏会	3月20日 (水)

④ 光市文化祭・芸能祭

・創作舞踊	9月24日 (日)
・歌謡	10月 8日 (日)
・邦楽	10月22日 (日)
・吟剣詩舞	11月 5日 (日)
・合唱	11月19日 (日)
・ピアノ	12月 3日 (日)

⑤ その他 (光市、光市教育委員会の事業)

・山口県高等学校総合文化祭	6月17日 (土)
・光市「雇用の日」メッセージフェア	6月30日 (金)
・光市人権教育指導者研究会	8月 8日 (火)
・県中学校英語暗唱弁論大会予選	8月18日 (金)
・光市教育フォーラム	8月23日 (水)
・光まつり	10月 1日 (日)
・光市人権を考えるつどい	12月 9日 (土)
・光市消防出初式	1月 6日 (土)
・光市はたちの集い	1月 7日 (日)
・光市女性のつどい	1月13日 (土)

- ・ 光市スポーツ優秀者表彰式 2月14日（水）
- ・ 光市青少年健全育成推進大会 2月17日（土）

3 光ふるさと郷土館

港町室積の商家の建物を活かし、室積地区を中心としたふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集・展示を行い、それを観光資源として活用するとともに、地域文化の学び・創造・発表の場として、今の時代に沿った展示内容にすべく、工夫を凝らし事業を展開した。

また、国からの行動制限が緩和され、人の集まる機会が増えてきた中、新型コロナウイルス感染症予防対策を継続し、入館者数は昨年度より増加した。

(1) 常設展示

ア 商家の帳場

醤油の醸造及び販売をしていた商家「磯民」の帳場を再現し、帳簿類、金箱、帳場格子、金庫、箱階段、版木、賞状などをジオラマ展示

イ 醤油醸造資料展示室

麹室、煙突などの醤油醸造施設と升、樽、桶などをジオラマ展示

ウ 廻船と漁業資料

港町と漁業で繁栄したかつての室積の姿を伝える資料を展示

廻船資料：弁財船模型、船箆筒、鑑札、船絵馬、遠眼鏡など

廻船業資料：引札、売買仕切書、往来手形、尼崎汽船の切符など

萩藩撫育方会所資料：金箱、提灯箱、鬼瓦など

漁業資料：打瀬船模型、鰯網船模型、伝馬船、箱眼鏡、延縄など

室積台場関連資料：大砲の台座

早長八幡宮祭礼資料：山車、提灯、法被、山車写真など

エ 海商通りの鬼瓦

オ 種田山頭火と室積

カ 重光兵三郎のひねり人形

キ 磯部家（元別館）の歴史

(2) 企画事業

ア 邦楽演奏会「秋風のもとで」

開催日時 9月23（土・祝） 13:30～15:30

入館者 90人

内容 開館当初から開催している邦楽の演奏会。夜のイベントであったが初めて昼間に開催した。集客に不安があったが、邦楽の演奏を楽しもうと入館者は昨年より増加した。



イ 邦楽演奏会「春風にのせて」

開催日時 3月3日（日） 13:30～15:30

入館者 84人

内 容 初めての春の演奏会だった。少し肌寒い日にもかかわらず、若い人から高齢の方まで幅広い年齢層の方に楽しんでいただいた。また、開演前や休憩時にギャラリーで開催中の「源氏物語」を観覧され大変好評であった。

(3) ギャラリー展示

計4,154人

No	タイトル	展示者	期間	入館者(人)
1	親子3人切手はり絵原画展 ～継続して花ひらく～	中野恵子 他	4月15日(土) ～4月30日(日)	485
2	楽しむ書七人展	佐々木松涛 他	5月9日(火) ～5月21日(日)	1,351
3	龍神powerと導き	阿部郁子	6月1日(木) ～6月10日(土)	150
4	五感で感じる郷土の夏 ～室積名勝めぐり～	郷土館自主企画	7月15日(土) ～8月27日(日)	515
5	Welcome to my world	石田雪音	9月9日(土) ～9月24日(日)	471
6	房子の愛した景色 ～新しい出会いを求めて～	守田房子 他	10月7日(土) ～10月21日(土)	265
7	さくら耳の猫の作品展	岡崎美穂 他	12月1日(金) ～12月17日(日)	171
8	郷土館のひなまつり ～源氏物語の世界～	郷土館自主企画	2月3日(土) ～3月10日(日)	746

(4) 教育普及活動

ア 体験教室

(ア) 親子で作るこいのぼり

開催日時 4月29日(土) 9:30～11:30 13:30～15:30

技術指導 郷土館職員

参加者 6組(大人5人、子ども6人)

(イ) 親子で作る竹細工教室

開催日時 7月22日(土) 9:30～11:30 13:30～15:30

技術指導 郷土館職員

参加者 9組(大人9人、子ども9人)

(ウ) 藍染め体験ワークショップ

開催日時 7月23日(日) 9:30～11:30

講師 坂本美穂

参加者 4人

- (エ) 親子でつくる水鉄砲
 開催日時 8月11日(金・祝)・12日(土)
 両日 10:00~11:30 13:30~15:00
 技術指導 郷土館職員
 参加者 21組(大人22人、子ども21人)



- (オ) 竹で作る干支「辰」
 開催日時 11月26日(日)
 9:30~11:30 13:30~15:30
 技術指導 郷土館職員
 参加者 13人

- (カ) ミニ門松作り
 開催日時 12月24日(日) 10:00~11:00 11:00~12:00
 13:00~14:00 14:00~15:00
 技術指導 郷土館職員
 参加者 19人

イ 歴史講座

- 第21回歴史講座
 「長府藩(毛利支藩)の砂糖製造」
 開催日時 2月18日(日) 10:00~12:00
 講師 植村芳弘(光地方史研究会顧問)
 参加者 20人



ウ 保育園、小中学生の総合学習や生活科・理科・社会科見学への対応

保育園	1園	40人
光市内小学校	16校(延)	606人
光市内中学校	1校	40人
合計		686人



(5) イベント等の開催

- ア 郷土館端午の節句
 開催期間 4月22日(土)~5月5日(金・祝)
 内容 休憩室に五月人形、鎧、兜などを展示し、中庭に鯉のぼりを泳がせた。

- イ 普賢まつりの開館時間延長と入館無料
 開催日時 5月14日(日) 19時まで延長
 5月15日(月) 17時
 ※休館日を5月16日(火)に変更

ウ ホホジロザメの口蓋骨展示(山口県漁業協同組合光支店から借用)

展示期間 7月15日(土)～8月27日(日)
 内 容 平成11年に捕獲されたホホジロザメの口蓋骨に併せて、同じ大きさの模型を制作し、電飾で深海をイメージさせ迫力のある展示を行った。また、捕獲当時の映像を映し出し、サメの生態について解説した。



エ 早長八幡宮秋まつり開館時間延長と入館無料

開催日時 10月8日(日) 19時まで延長

オ 郷土館のひなまつり

開催期間 2月3日(土)～3月10日(日)
 内 容 明治から昭和時代のひな人形を時代ごとに特徴を紹介。また、子どもに着物を着せ写真撮影を楽しめる撮影スポットを作るなどして、幅広い年齢層に楽しんでいただけた。



カ 光ふるさと郷土館開館30周年記念事業

ふるさとクイズラリー

開催期間 9月1日(金)～3月31日(日) 参加者 248人

(6) 資料収集

令和5年度末現在の館蔵資料点数

		購入	寄贈	寄託	その他	合 計	
美術	絵画・版画・切り絵		13			13	319
	彫刻・工芸		4			4	
	書		1			1	
	資料		1			1	
人文	歴史	1	23	4	2	30	288
	民俗	1	189	18	50	258	
科学	自然史系		2			2	2
その他			6		4	10	10

注：未整理未登録の収蔵資料は含まない。

(7) 利用状況

入館者数 5,299人

施設利用(貸部屋)なし

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。